

## 指定管理者の評価に係る合議の概要

<b>施設名</b>	箕面市立医療保健センター分室（豊能広域こども急病センター）
<b>指定管理者名</b>	一般財団法人箕面市医療保健センター
<b>開催日</b>	平成29年（2017年）8月30日（水）
<b>開催場所</b>	豊能広域こども急病センター 3階 中会議室
<b>合議の出席者</b>	箕面市立病院小児科部長 溝口 好美 氏 公益財団法人阪神北広域救急医療財団事務局長 徳井 秀朗 氏 高槻市健康福祉部保健所健康医療政策課長 増田 雄一郎 氏 施設利用者 松村 利恵 氏

【概要】別添のとおり

## 内容

平成29年8月30日（水）に豊能広域こども急病センターにて、指定管理者の評価に係る合議を実施いたしました。主な内容は以下のとおりです。

### 【出席者からの指摘、質問事項及び指定管理者の回答】

#### 1) 施設改修について

(出席者) 改修は元々計画として予定されていたのか。

(市) 市の当初の改修計画には入っていなかったが、水道や電気設備、外壁の劣化が進んだため、平成27年度、28年度で行うことになった。改修費用については、箕面市が54%、3市2町で残り46%を人口と患者割で負担することになった。

(出席者) 利用者アンケートで、感染症について意見が出ているが、改修にあたり配慮はしたのか。

(指定管理者) 特に部屋割りはしていない。感染症（麻しん、風しん等）患者については、元々別の部屋に入っただくようにしている。

#### 2) 経営について

(出席者) 高槻市でも同じく救急診療所を運営しており、平成25年度から3市1町で運営費を負担するようになった。もっとコストの合理化ができないかと言われるが、箕面市では具体的にどのような経営改善策を講じているのか。

(指定管理者) 豊能広域こども急病センターでは、経営改善計画により平成23年度に赤字額が大幅に減少した。取組としては、清掃、警備、受付業務の委託契約を個別にしていたものを統合したこと、また看護師の深夜勤務と薬剤師の人数を減らしたことで、人件費のコストが削減されたことが上げられる。

(出席者) 高槻市は小児科以外に内科と外科を併設しており、職員は非常勤職員。給与を下げると人員が確保できないので、下げることができない。経営努力で多少は減っているが、豊能広域こども急病センターに比べると赤字額が大きい。

(指定管理者) 看護師の人件費について、深夜勤務は削減されたが、年末年始やゴールデンウィークは人員を増やすなど緩急を付けている。

#### 3) 後送病院について

(出席者) 茨木市の病院に行きたいと言われることがある。豊能広域こども急病センターでは、このような患者の要望にどう応えているか。

(指定管理者) できるだけ患者の希望に応じるため、連絡をとるといった手立てを行っているが、小児科がないところも多く、断られることがある。また、救急搬送については、基本的に患者自身で行っていただいでおり、救急車の使用は月5～7件程度となっている。

#### 4) 待合室について

(出席者) 知り合いのかたが以前利用したときに、自分の子どもは熱の症状だけなのに、嘔吐の患者が多数いる待合室で一緒に待たされることになったため、感染が気になって呼ばれるまで車で待っていたとのことであった。別の部屋で待つことはできないか。

(指定管理者) 空気感染（麻しん、風しん等）する病気については、別室に

入っていただくが、胃腸炎等については待合室を分けていない。感染症を防ぐため、マスクの着用を勧めている。また、待ち人数がインターネットのサイトから確認できる「ねこの目」の利用を周知している。

#### 5) 薬について

(指定管理者) 薬が一日分しか出ないことについてはどう思われるか。

(出席者) 翌日かかりつけ医に行くので一日分で充分だと思う。かかりつけ医の方が安心する。

#### 【総評】

- 初期救急医療機関として十分機能されていると思う。同じ救急医療機関として今後も情報交換していきたい。
- よく経営努力されていると思う。
- 利用者アンケートの回答率を上げる必要があると思う。

指定管理者の管理運営については、良好であると市として評価します。